

1975/5/1

タイム＝徳網5：07－角檜小屋8：50－平岩山14：00－大朝日岳15：45－大朝日小屋16：00（泊）

標高差＝徳網約350m～大朝日岳1871m＝約1521m

飯豊は終わったが、30日雨が降って、杣差岳（えぶりさしだけ）に上れなかったことが心残りだった。（杣差岳は、22年後の1997. 8に登頂）

今日は、朝日連峰に上るべく、小国から五味沢（朝日平）～徳網に来た。徳網は、20～30の小さな集落だった。林道の途中で山菜取りの地元の方に会う。

飯豊の時も見た、カタクリをたくさん取っていた。「これを食べるんですか？」と聞けば、「ちゃんと、食べられる」とのこと。朝日を下山して分かったが、茹でて保存食にするようだ。

徳網上の川原でテントを張った。天気は良く満天の星だった。荒川でイワナを釣ろうかと、五味沢で糸・針・おもりを買ってきたが、どうやら使われじまいのようだ。

5/2

どうしてイワナ釣りをやろうかと思ったかを考えたら、五味沢の雑貨屋のオヤジにそのかされた。針生平（はんなりだいら）に行けば、イワナが沢山釣れると言ったからだ。

エサは、徳網でミミズを取ればいいと言った。針生平は、上高地を小さくしたような気持のよいところ。確かにイワナは沢山いそうだった。

針生平から角檜小屋めざす。途中、かなり危険な吊り橋を二回渡った。こちらの地方独特なものだろうか、一本の吊り橋である。



角檜の吊り橋（2013.9）ネット

ヒノキ（スギ？）とワイヤーの組み合わせ。ヒノキの皮を剥いたばかりで滑りやすい。小屋まで分かりにくい道だった。角檜小屋は、日当たりが良い、小ぎれいな小屋だっ

た。二つ建っていた。



角檜小屋（2013.9）ネット



平岩山（2013.9）ネット

荒川をへつり、平岩山の尾根に取りつく。上りは急登。急登は確実に高度を稼げるからいい。

平岩山を過ぎ16:00、大朝日小屋に入る。いい感じの小屋で、収容は30名くらい。すでに2人いた。後から7名来た。

今日は、大きな標高差で本当に疲れた。昨夜、濡れてよく寝れなかったからだ。とにかく無事終了した。



夏の大朝日岳（1870.7m）ネット



秋の大朝日岳（ネット）



大朝日小屋（ネット）



1998年8月10日
大朝日岳から竜門岳に向うレイホー・パーティー
大朝日小屋が小さく見える（撮影＝後藤）



8月12日、大井沢に下山後、橋本屋で祝杯（後列左＝2005. 01、亡くなった飯塚さん）

<http://susono-reihou.babyblue.jp/990.pdf>